

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和6年1月26日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから1月26日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

原子力規制委員会の広報日程について御説明します。

まず「審査会合、会見などについて」の2件目の案件です。1月30日火曜日、第1221回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合が開催されます。対応は杉山委員です。

議題は「東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所第7号機 特定重大事故等対処施設に係る設計及び工事の計画の認可申請に係る審査について」となっております。

本件は4分割で申請がされておりました、11月21日に前回審査が行われております。引き続き大型航空機衝突の影響評価について、規制委員会から指摘に対して回答が行われ、審議が行われる予定となっております。本件は特定重大事故等対処施設に係る審査のため、審査会合は非公開で行われます。

3つ目の案件、第1222回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、同じ日の1時半から4時45分までの間で行われます。対応は杉山委員です。

議題1は「関西電力株式会社高浜発電所1号炉、2号炉、3号炉及び4号炉の設置変更許可申請（3号炉及び4号炉の蒸気発生器の取替え等）の審査について」。

議題の2は「九州電力株式会社玄海原子力発電所3号炉及び4号炉の高燃焼度燃料導入等に係る設置変更許可申請の審査について」となっております。

本件はどちらも前回12月26日の審査会合で議論がされております。関西電力の高浜の蒸気発生器の取替えについては、昨年4月25日に申請が行われておりました審査が行われております。また、玄海原子力発電所3号炉、4号炉の高燃焼度燃料については、2022年の12月28日に申請が行われ、これまで審査対象となる条文の整理が行われてきましたが、おおむね整理ができたことから、設計の説明などを受ける予定と聞いております。

次に、6番目の案件、2月1日ですが、第30回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合が開催されます。対応は金城長官官房審議官です。

議題は「トランスニュークリア株式会社特定兼用キャスク設計の型式証明について（TK-26型）」となっております。

本件については、前回11月2日に審査を行っておりまして、今回は規制委員会からの指摘事項について事業者から説明が行われる予定です。

7番目の案件、第1223回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。対応は杉山委員です。

議題は「北海道電力株式会社泊発電所3号炉の設計基準への適合性について」です。

泊発電所3号炉については、設置許可の審査を行っております。今回は、防潮堤の設計方針について審査が行われる予定となっております。

8番目の案件、第1224回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合が開催されます。対応は杉山委員です。

議題は「日本原子力発電株式会社東海第二発電所の火災防護に係る設計及び工事の計画の変更認可申請の審査について」です。

東海第二発電所の火災感知器の設置について審査が行われます。本件は、前回10月17日に審査が行われております。今回は、特定重大事故等対処施設に係る審査を含むために非公開で行われます。

2月2日、第510回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合が開催されます。対応は杉山委員です。

議題は「日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の放射性廃棄物の廃棄施設に係る設計及び工事の計画の認可申請について」です。

JAEA（日本原子力研究開発機構）の放射性廃棄物の廃棄施設について、9分割の申請の9回目のもので審査を行っております。火災や竜巻の影響に係る事業者の申請内容について説明を受けることが予定されております。

最後に、委員の現地視察の日程です。

2月1日に伴委員が東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の現地を視察されます。今回の視察は、これから議論されます中期的リスクの低減目標マップの改定作業に係る現地確認と、昨年の増設ALPS（多核種除去設備）で発生いたしました身体汚染事故に関する現場確認を目的とするものでございます。現地で取材が可能でございます。

本日の案件は以上でございます。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

-了-